

令和5年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会
西原りとるばんぷきんず

園は常に質の高い保育が求められている。

そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部、改善を要する理解している
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	主活動や朝夕の選択制保育をコンスタントに取り入れることが出来た。後期は、行事が重なり実施が難しくなることもあったが、夕方の時間も使いながら取り入れる工夫をして実践した。日々の保育も職員間で振り返りながら、反省を生かして改善することができた。
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	指導計画を参考にしながら、子ども達の発達に合わせた保育を展開してきた。行事では、エデュテイメント（教育＋感動）をテーマとし、保護者も参加したりと、大人も子どもも楽しめる行事運営を行ってきた。アンケートもおおむね好評だったので、引き続き行っていく。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3, 園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	計画的に研修を行うことができた。また、職員や園の様子に合わせて内容を変更するなどの工夫を行った。今年度は外部講師に依頼し、職員のチームワーク向上に努めることもできた。災害訓練では、法人合同避難訓練を行った。また、今年度から導入したトランシーバーなども使用し、より実践的な訓練を行うことができた。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	年間で計画通りに子育て講座や産前産後見学会など行うことができた。子育て講座のリピーターも多く、入園にもつながった。また、地域のイベントにも積極的に参加することができた。LINE ビジネスを活用し、子育て講座や見学等の案内やほけんだよりを配信している。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	守秘義務について、職員研修で共有している。また、個人情報是人目につかない場所に保管するよう徹底している。
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	登降園管理システムで園だより等は、配信し、園での様子が分かるようにブログで発信している。
---	---	--

※今年度は、第三者評価を受審し、評価結果は、東京福祉サービス第三者評価に掲載。